



日常にある”きれい” を写真に残そう ～カメラ体験～ 10月31日

野州市在住のカメラマンをゲストティーチャーに招いて4年生の図画工作科『日常にある”きれい”を写真に残そう(鑑賞)』をおこないました。

カメラマンさんから、カメラとの出会いや写真のすばらしさのお話を聞きました。写真は撮った人の心が写る(=写心)、人の心を動かすことのできる写真への愛情が伝わってきました。そんな大好きな写真だからこそ「写真で誰かが傷ついてほしくない」という思いをもって撮影のマナー(誰かの迷惑になっていないか、許可をとってから撮影をする、安全確認、著作権)についても教えてもらいました。

写真の撮り方のポイントとして「いろいろと視点を変えてみる」「光の向き(順光、逆光)」について学び、一人一台カメラを持って運動場にとびだしました。思い思いの被写体にレンズを向けて、日常にある“キレイ”を撮影しました。1週間分撮りためたそれぞれの写真を鑑賞して交流します。



祇王小学校地域学校協働活動